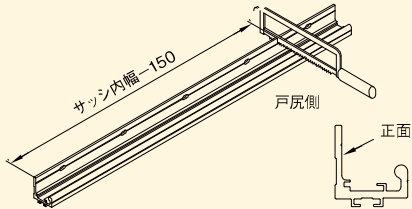


鋼製軽量建具用／傾斜式

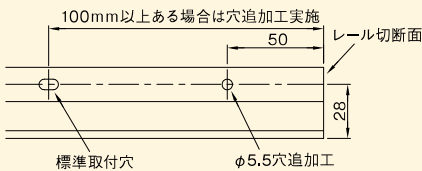
1 レールの取付け

①レールの切断、取付穴の追加加工

- サッシ内幅より150mm引いた寸法でレールをカットしてください。
- カット方向は下記に従いレールの戸尻側をカットしてください。
 - ・右開きは正面から見て、右側をカットしてください
 - ・左開きは正面から見て、左側をカットしてください



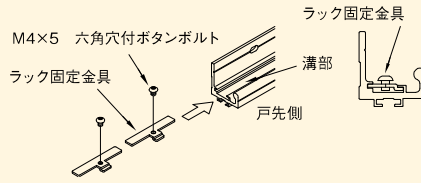
- レール切断面から、標準取付穴までの寸法が100mm以上ある場合は、端面から50mmの位置に、レール取付け用の穴φ5.5を追加加工してください。



- 注意**
- レール加工時、走行面にキズをつけないよう注意してください。

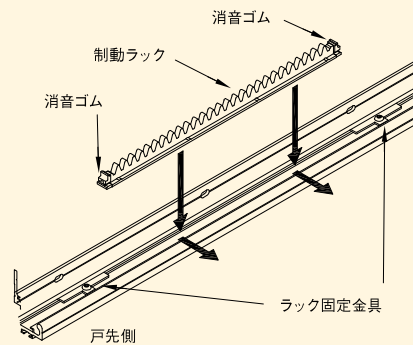
②制動ラックセットの取付け

- ラック固定金具 (2ヶ) に付属のネジ (M4×5 六角穴付ボタンボルト) を仮締めし、レール上側の溝部に挿入してください。

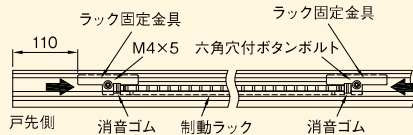


- 制動ラック (樹脂部) の両端に、消音ゴムが付いていることを確認してください。

- 制動ラックを上側から溝部に挿入し、レール正面側に押付けてください。(制動ラックは両端どちらを戸先側に向けてもかまいません)



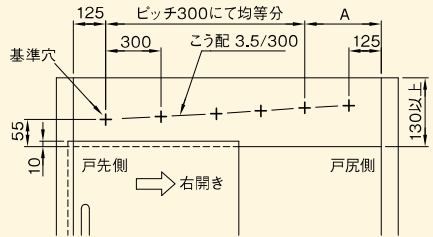
- ラック固定金具をスライドさせて制動ラック (消音ゴム) を挟み込み、制動ラックの消音ゴム部に密着させてガタツキが無いようにし、六角穴付ボタンボルトを締め付け、ラック固定金具を固定してください。(六角棒スパナ 対辺 2.5)



- 注意**
- 異音、制動不良の原因になりますので、ラック固定金具と制動ラック (消音ゴム) は密着させてガタツキが無いようにし、ボルトをしっかりと締め付け固定してください。

③レール取付穴の設定

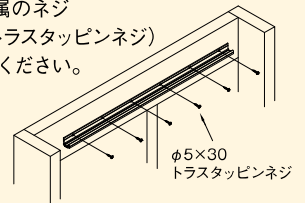
- 下記の位置を基準穴とし、タップ加工 (M5 ピッチ 0.8) してください。
 - ・戸先側のサッシ内側からの寸法=125mm
 - ・サッシ上枠下面からの寸法=55mm (サッシ上枠と扉のかぶり10mmの場合)
- 以降の穴は、300ピッチ毎に高低差3.5mm (こう配 3.5/300) でタップ加工 (M5 ピッチ 0.8) してください。
- 下図A寸法 (300ピッチ最終穴位置から戸尻側サッシ内側までの寸法) が175mm以上ある場合は、サッシ内側より125mmの位置にタップ加工してください。



基準穴からの穴数 (基準穴を除く)	基準穴からの水平距離 (mm)	基準穴との高低差 (mm)
1ヶ	300	3.5
2ヶ	600	7.0
3ヶ	900	10.5
4ヶ	1200	14.0
5ヶ	1500	17.5
6ヶ	1800	21.0
7ヶ	2100	24.5
8ヶ	2400	28.0
9ヶ	2700	31.5
10ヶ	3000	35.0

④レールの取付け

- レールを付属のネジ (φ5×30 トラスタップネジ) で取付けてください。



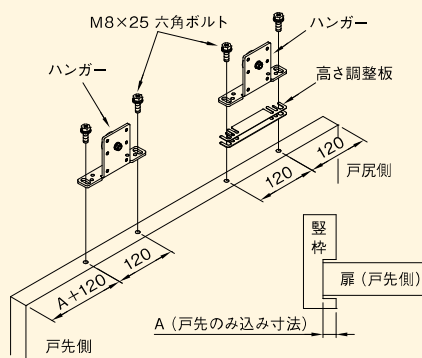
- 注意**
- 取り付け後は、レール走行面にキズ、ペンキ、ゴミ等が付かないよう養生してください。

2 ハンガーの取付け

- 図の様にハンガー及び高さ調整板を取付けてください。
- ハンガーは、左右勝手、戸先側、戸尻側全て共通部品です。
- 高さ調整板の使用枚数は扉幅により異なります。下表を参照し取付けてください。

高さ調整板使用枚数 (参考)

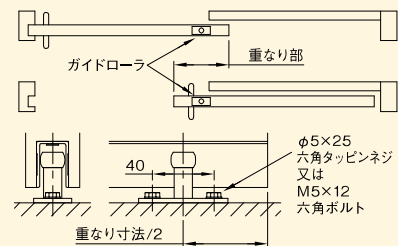
扉幅DW (mm)	使用枚数
600~700以下	3枚
700~800以下	5枚
800~900以下	6枚
900~1000以下	7枚
1000~1100以下	8枚
1100~1200以下	9枚
1200~1300以下	10枚
1300~1400以下	12枚
1400~1500以下	13枚
1500~1600以下	14枚



- 注意**
- ハンガーは扉と平行となるように取付けてください。
- 良い例
- 悪い例

3 ガイドローラの取付け (オプション)

- 扉の重なり部中央に取付けてください。
- 扉が床面と垂直になるように取付けてください。
- 床面がコンクリート、モルタル等の場合は付属のフィッシャープラグを使用し取付けてください。(下穴ドリル径φ6)

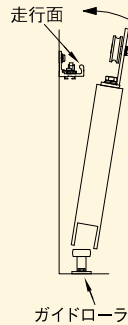


- 注意**
- ガイドローラは必ずご使用ください。

4 扉の吊り込み

①扉の吊り込み

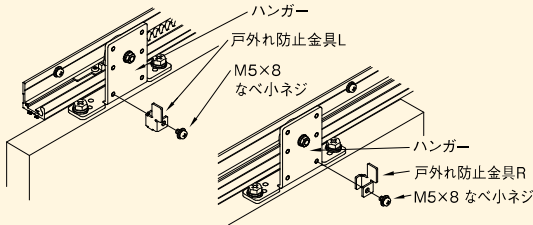
- 扉吊り込み前に、レール走行面に付着している汚れを拭き取ってください。
- 扉の下部をガイドローラに合わせ、戸車をレール走行面に吊り込んでください。
- 扉がスムーズに開閉できることを確認してください。
- 扉と壁との隙間は、ハンガーの下に高さ調整板を挿入し、調整してください。



- 注意**
- 吊り込みの際は、レール走行面に傷を付けないよう注意してください。
 - 制動装置は、必ず扉吊り込み後に取付けてください。吊り込みの際、レール等につけて破損する恐れがあります。

②戸外れ防止金具の取付け

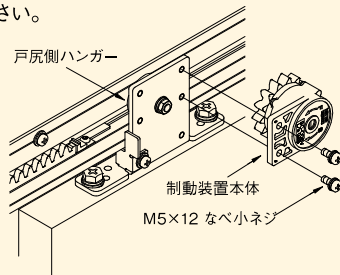
- 戸先側、戸尻側両方のハンガーに戸外れ防止金具を付属のネジ (M5×8 なべ小ネジ) にて取付けてください。



- 注意**
- 扉が脱落する恐れがありますので、戸外れ防止金具は必ず取付けてください。

6 制動装置の取付け

- 本制動装置は左右勝手兼用です。クラッチギヤの組み込み方向により左右勝手が決まります。クラッチギヤの組み込み、組み替えを行う際は、下記の手順に従って実施してください。
- 制動装置を付属のネジ (M15×12 なべ小ネジ) で、戸先側のハンガーに取付けてください。
- 扉を60cm以上開いた状態 (制動ラックセットと噛み合わない位置) で、取り付けを行ってください。

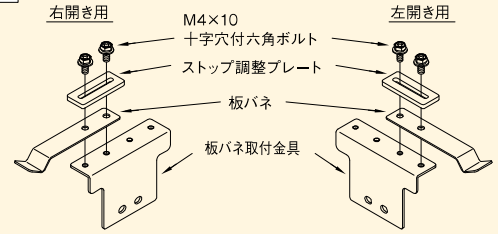


- 注意**
- 制動装置の左右勝手を確認してください。勝手を逆に付けると、制動が効きませんのでご注意ください。
 - 制動装置の取付けは、必ず扉吊り込み後に行ってください。吊り込みの際、レール等につけて破損する恐れがあります。

5 戸当り、全開ストップ装置の取付け

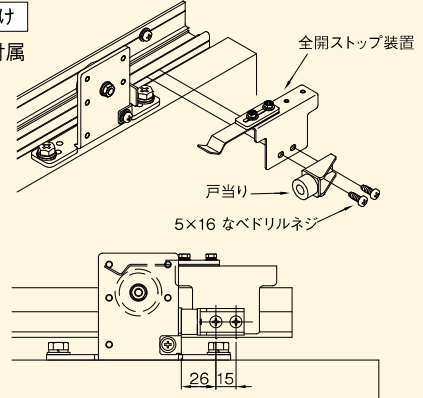
①全開ストップ装置の組立

- 図のように全開ストップ装置を取付けてください。



②戸当り、全開ストップ装置の取付け

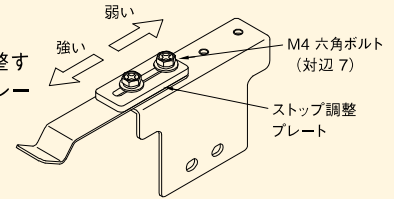
- 扉を止めたい位置に、戸当りを付属のネジ (5×16 なべドリルネジ) にて取付けてください。
- 全開ストップ装置は、戸当りと一緒に締めつけてください。



- 注意**
- 戸当り金具がずれる恐れがありますので、固定ネジはしっかりと締めつけてください。
 - 開扉時に扉が強く戸当りに当たる場合は、標準戸当りと併せ、戸尻側扉中央部にも別途戸当りを設置してください。

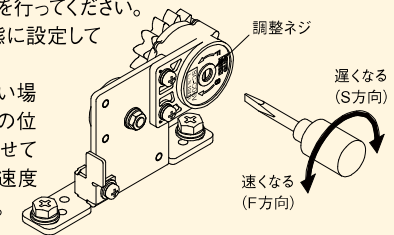
③ストップカの調整

- 全開ストップ装置のストップカを調整する場合は、六角ボルトを緩め調整プレートの位置をずらして調整してください。



7 閉じ速度の調整

- 制動装置の调速ネジをマイナスドライバーで回し、閉じ速度の調整を行ってください。(出荷時は一番速い状態に設定してあります。)
- 更に閉じ速度を早くしたい場合は、制動ラックセットの位置を戸先側にスライドさせて制動区間を短くし、閉じ速度の調整を行ってください。



- 注意**
- 調整ネジは軽い力で回し、突き当たり後は無理に回さないでください。
 - 周囲温度の変化により多少閉じ速度が変化します。温度が高いと速くなり、低いと遅くなります。

以上で取付け完了です

クラッチギヤ組み込み・組み替え手順

本制動装置は左右勝手兼用です。クラッチギヤの組み込み方向により左右勝手が決まります。クラッチギヤの組み込み、組み替えを行う際は、下記の手順に従って実施してください。

- ・制動装置本体シャフト部にワッシャーを挿入してください。
- ・クラッチギヤをシャフトに挿入してください。

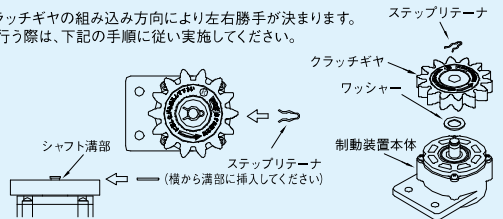
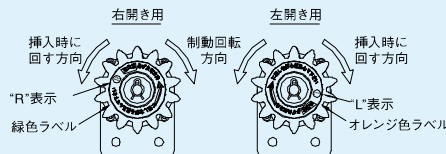
右開き用の場合

緑色ラベル (R側) を上側にし、ラベルの矢印方向 (左回転) に回転させながらシャフトに対しまっすぐに挿入して下さい。

左開き用の場合

オレンジ色ラベル (L側) を上側にし、ラベルの矢印方向 (右回転) に回転させながら、シャフトに対しまっすぐに挿入してください。

- ・組み込み後クラッチギヤを回転させ、制動回転方向が間違っていないか確認してください。(制動回転方向は下図を参照してください)
- ・ステップリテーナをシャフト先端溝部に取付けてください。



- 注意**
- クラッチギヤの挿入及び取外しは、必ずラベルの矢印方向に回しながら行ってください。無理に行くと、クラッチギヤが破損する恐れがあります。